

第38回大崎上島町公共交通連携協議会 議事要旨

【開催概要】

会議名 第38回大崎上島町公共交通連携協議会
 日 時 令和5年10月11日(水) 13時30分～14時15分
 場 所 大崎上島町役場本庁 2階大会議室
 出席者 16名

団体名	職名等	氏 名	出席者
広島商船高等専門学校	流通情報工学科教授	岡山正人(議長)	○
さんようバス株式会社	代表取締役社長	土井俊斉	○
さんようバス株式会社	従業員代表	佐村 優	○
尾道地区旅客船協会	事務局長	柳井裕志	○
山陽商船株式会社	代表取締役専務	日浦徹治	欠席
大崎汽船株式会社	代表取締役	川本公夫	○
大崎上島町議会	議長	信谷俊樹	欠席
大崎上島町連合区長会	副会長	山田泰三	○
大崎上島交通問題協議会	会長	閑田大祐	○
大崎上島町商工会	副会長	信谷 裕	○
大崎上島町社会福祉協議会	会長	有田卓也	○
大崎上島町地域女性連合会	会長	田房明美	○
大崎上島町観光協会	会長	中原幸太(副会長)	欠席
中国運輸局尾道海事事務所	首席運輸企画専門官	築山泉美	○
中国運輸局広島運輸支局	首席運輸企画専門官	中井孝司	○(代理 石井敦大)
広島県地域政策局	交通対策担当課長	藤井 剛	○
竹原警察署	大崎上島分庁舎長	稲田雅之	○
大崎上島町	副町長	小田 博(会長)	欠席
大崎上島町	地域経営課長	坂田 誠	○
大崎上島町	建設課長	藤原通伸	○

傍聴者 1名

【議 事】

1. 開 会

<事務局より、開会宣言>

2. 議 題

(1) 報告事項

① デマンドバス導入事業に係る経過報告について

事務局	<資料説明>
議 長	<p>ただいま事務局から説明がありましたが、本件についてのご意見、ご質問等はございますか。</p> <p>自家用車有償運送申請ということで、11月の中頃までには協議会を開催するよう準備をされているということでよろしいですか。</p>
事務局	申請にあたって本協議会において協議が整ったことを証する書類を添付することが必要になりますので、11月中旬に開催をするよう手配を行っているところです。
委 員	他の公共交通機関の利用頻度の変化等も含めた検証を行うということですが、思わしい結果が出なかった場合にこのデマンド交通についてはどのようにしていこうと思われていますか。
事務局	昨年度は1か月間の実証運行を行い、若者を中心にかなりの利用がありました。ただしこれは1か月という短期間で、正確な数字までは把握できていない状況です。今年度3か月実証するにあたり、当然事務局としても広報を積極的に行い、利用促進を投げかけていきたいと考えています。その中で著しく利用が少ないといったことが生じた場合は1～2か月運行してある程度の状況はつかめると思いますので、本協議会へ報告をして、今後の方針も含めて協議させていただきたいと考えています。
委 員	他の公共交通の利用頻度はおそらく変化が出るだろうと想定があると思います。それらも含めてこの町でデマンド交通を最終的に導入していく方針で実証をやるつもりなのか、それとも好ましい結果が出なかったらやめてしまうのかをお伺いしたいです。
事務局	今の想定では、今後の交通再編も含めてデマンド交通を充実させるということを第一と考えております。
委 員	<p>前回の実証の際、お昼前に団体で利用しようとする、昼休憩なのでバスを1台しか出せないと言われました。フェリーに乗る場合であれば大変だと思い、課題だと感じます。運転手さんの休憩時間はもちろん必要ですが、それを事前にわかっていたら私達も対応ができたと思います。</p> <p>もう1点は、利用当日の朝に体調不良で、1名分キャンセルしたい旨を乗車時に伝えると、予約人数分の料金は支払うよう言われました。大した金額ではないですが、これも課題かと思います。</p>
事務局	<p>昼休憩等で利用人数が制限されたことに関しては、事前にまた周知等を行って、できるだけ利用者の方が不便にならないように検討したいと思います。</p> <p>キャンセルの方に対する支払等についても、今後は直前のキャンセルはできない旨を明確に表示して周知を徹底してまいります。</p>
委 員	システム構築について、LINE連携の導入とはLINEをインストールしないといけないということですか。
事務局	LINEを必ずインストールしないと使えないというものではありません。LINEとの連携

	をしなくても、システム自体はスマートフォンで使えるようになっており、LINEは選択肢の一つとして新たに加えています。
議 長	LINEの利用者が多いからということですか。
事務局	昨年度の実証実験で高齢者の巡回相談員を対象にスマホ教室を開きましたが、そこで数字8文字以上のパスワードをまず設定するということがとても難しかったです。皆様にその場で聞いたところ、LINEであれば使っているという意見が多かったので、今回はLINE連携を付ける方向で協議を進めているところです。

(2) 協議事項

①大崎上島町における公共交通の最適化について

事務局	<資料説明>
議 長	<p>ありがとうございました。この件は前回の協議会で陸上・海上交通を含めて町内の公共交通の再編を考えてはどうか、というご意見に起因しているかと思います。こうした提案、事務局からの説明についてご質問等がございましたらよろしくお願いします。</p> <p>無いようでしたら事務局から何か補足説明はありますか。</p>
事務局	ありません。
議 長	<p>二つのポイントがあると思います。一つ目はデマンドバスの4月からの本格運行を念頭に置きたいということ。二つ目は、再編に向けてということになれば、町民の意見を十分に聞くためにアンケートを実施することと思います。</p> <p>一つ目のデマンドの実装について、令和7年度には利用実績を基にして、順次にデマンドに移行することと思います。二つ目は民意を問うということで、アンケートをしながら協議をして、この協議会で諮っていきたいということです。</p> <p>以上の二つの方向性についてよろしいでしょうか。</p>
委 員	アンケートのスケジュール調整がどうなっているのか教えてください。
事務局	アンケート内容をまず精査をして準備を進める必要がありますので、11月中旬以降の実施を想定しています。その結果の集計を12月に行い、協議会での報告につきましては来年の1月頃を想定しています。18歳以上の町民を対象に、年齢階層別、無作為抽出という形で考えております。
委 員	アンケート調査は1回だけですか。
事務局	1回を予定しています。
委 員	令和7年以降におと姫バスをデマンド化するのであれば、1回の調査では物足りないかと思います。その変化をみながら再度実施すれば、アンケート結果も変わる可能性があるかもしれない気がします。
議 長	ある程度実装された後の状況を踏まえた上で、おと姫バスをどうするかも含めた詳細なアンケートを再度実施してはどうか、という意見かと思います。
事務局	今回、陸上交通と海上交通の全般を再編していくにあたって、町民の皆さんの声を集約したいという思いがあります。おと姫バスのデマンド化も含めて、継続してそういった取組が必要な場合は、予算計上して次年度以降検討してまいりたいと思います。

議 長	非常に大きな変化があるのではないかと思います。町民の方へのアンケートは負担もかかるかと思いますが、できるだけ意見の集約ができればと思います。
-----	--

(3) その他

議 長	その他について何かございますでしょうか。
事務局	本日配付の令和5年度スマートアイランド推進実証調査の実施についてご説明させていただきます。 ＜資料説明＞
委 員	実用化はできそうでしょうか。
事務局	国土交通省が100%出資する委託事業であり、実装を目指した実証になっています。ただし、現在の船舶の法律上では無人では非常に難しいという現状がございます。
議 長	この調査の対象はこの島だけですか。
事務局	スマートアイランド事業で、人が乗る船での自律航行は大崎上島町だけです。こちらで先行して実装に向けた実証実験をするということで採択していただいています。
議 長	バス等の自動運転は実験的にされているのを皆さんご存じかと思いますが、船でもそういうことをやろうという試みかと思いますが。
委 員	生野島は現在何人・何世帯が住まれていますか。
委 員	住民は8名です。
議 長	人件費を考えればこういうシステムがあっても良いかという話だと思います。
委 員	高齢化されて、さざなみで買い物に来られるのも荷物を持って帰るのも大変かと思います。島民の方にとっては良い面もあると思います。
委 員	たまたま生野島が8名なだけであり、これを将来この島だけではなくて他の離島の手段に転換するということも視野に入っているのでしょうか。
事務局	おっしゃる通りで、実証を重ねていくに従って同じような地域の課題解決を見込める事業に対してのみ、このスマートアイランド事業が採択されています。
議 長	他に無いようであれば議事は以上となります。

3. 閉会

以 上